



Newsletter

No.95

2025 年 7 月 1 日

発行 レイバーネット日本

〒 173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

「戦争の時代・生活破壊」にノーの声を！

—25 年目のレイバーネット—

「トランプが足で地球儀けりはじめ」「ミサイルを飛ばし介護を切り捨てる」。これは、最近のレイバー川柳句会の高得点句ですが、世界と日本で「戦争があたりまえ」にされ、「生活破壊」が一挙に進んでいます。「ひどすぎる、なんとかしなくちゃ」という思いはますます募ります。しかし一連の選挙では、国家主義が台頭しており、平和主義の「日本国憲法」が脅かされています。ここは踏ん張り時です。私たちは人権・民主主義を掲げ、主権者としてしっかり声をあげていきたいと思ひます。歴史的にみても、権力者のウソと欺瞞はかならず破綻します。ことし 25 年目に入ったレイバーネット。はたらくものの情報ネットワーク」として、やれることを確実にそして地道に活動をしていきたいと思ひます。

★レイバーネット総会「シニアからミドルへ」

3月4日には、郵政共同センターで今年の総会が開かれました。例年のようなイベントスタイルではなく、拡大事務局会議と兼ねた簡素の形となりました。出席は 17 人＋オンライン 3 人の計 20 人。2024 年の活動報告 2024 年の会計報告・2025 年の方向性を確認しました。会計報告では、大口カンパに支えられて、財政が改善されていることが報告されました。また 2025 年の運営委員を選出しました。従来のメンバーを踏襲しつつ、運営委員に大場ひろみさん、那須研一さんが新たに選出されました。また事務局次長に堀切さとみさん、根岸恵子さんが就きました。40 代の新会員 2 人も総会にも参加しました。この間追求していた「シニアからミドルへ」の態勢が徐々に具体化した活気ある総会になりました。（会計報告・運営委員リストは二面参照）

★レイバーネット TV

「小さなメディアの大きなチカラ」

今年前半のレイバーネット TV は、3 月 12 日の 211 号「3.11 特集・あれから 14 年ー原発避難者の苦しみとフクシマの現実」を皮切りに、212 号「いま世界で何が起きているのか？ートランプ旋風と不動産屋的拡張主義」、213 号「むらの貧困とまちの貧困をつなぐー令和の百姓一揆を世直しに」、214 号「生きていく逞しさ！ ボリビア

の映画集団ウカマウの衝撃」、215 号「なんで軍事費 2 倍なの？ー臨戦態勢に向かう日本を問う」、216 号「メディア黒書ー新聞押し紙問題」、

217 号「政治は私たちの手で変えられるー国会で奮闘する大橋ゆうこさん」、218 号「道ばたから世直し！ートラックドライバー、かい正康の挑戦」と月 2 回のペースで放送を行ってきました。各回とも大変充実した内容で、今の時代に立ち向かう「アクティブ・ラジカル・現場から」を体現したものになりました。なかでも 215 号では、リベラル野党を含めて「大軍拡」を容認している現状のなかで、杉原浩司さんをゲストに招き、「大軍拡 NO！」をしっかりと打ち出すことができました。引き続き「小さなメディアの大きなチカラ」を発揮していきたいです。

★映画祭 2025 は 7 月 27 日に開催します

恒例のレイバー映画祭は、7 月 27 日（日）に全水道会館 4F 大会議室で開催します。映画祭は第一回の 2007 年開催から始まり、コロナで一度中止はありましたが、今年で 18 回目を迎えます。三多摩レイバー映画祭も生まれています。レイバー映画祭 2025 では、土屋トカチ監督の『Amazon 配達員ー送料無料の裏で』に加え、米国ドキュメンタリー映画『UNION』（写真）を日本初公開します。巨大企業 Amazon の横暴と過酷の労働のなかでも、組合をつくって立ち上がった人びとがいます。2022 年 4 月 1 日ニューヨークの配送センター「JKF8 倉庫」でアマゾン初の労働組合が結成されました。映画『UNION』はその一部始終を描いています。また今年はボリビアウカマウ集団の全映画が公開され、話題になりましたが、その代表作である『第一の敵』を上映します。その他短編の『令和の百姓一揆』『タワマン物語』の計 5 作品を上映します。詳細は同封のチラシをご覧ください。そして広げてください。（事務局）



今後のレイバーネット活動案内

- シネクラブ上映会 7 月 6 日（日）18 時
板橋区向原ホール 「山谷やられたらやりかえせ」
- レイバーネット TV 219 号 7 月 9 日（水）
8 月お休みで 9 月から再開します
- 夏期合宿 8 月 23 日（土）24 日（日）
SCAT セミナールーム「毛呂分室」
- レイバーフェスタ 2025 12 月 28 日（日）
板橋グリーンホール（東京都板橋区）

厳しい状況！財政カンパのお願い

1 年前のニュースレターで窮状を訴えたところ、多くのカンパが寄せられ、財政はかなり持ち直しました。それでも、引き続き物価高騰やレイバーネット TV・ネット活動の諸経費が増加し、自転車操業が続いています。7 月時点での手持ち金額は 57 万円です。安定財政にするためには、手持ちを常時 100 万円にもっていききたいところです。諸事情をご理解のうえ、会費・カンパの納入を節にお願いします。宛名のところに納入状況が記載されています。同封の振替用紙をご利用ください。（事務局）

レイバーネット・各プロジェクト報告

三多摩レイバー映画祭

ものすごい熱気に包まれて

5月25日、東京・国立市で第三回「三多摩レイバー映画祭2025」が行われ、労働をテーマにした7作品を上映しました。会場は映像居酒屋キノキッヘ。40人も入れば一杯の店内に50人を超える参加者が集まり、ものすごい熱気に包まれました。パワハラによる精神疾患や自死者の増加、分断と格差の拡大……それらを観る者に突き付けながらも、体制側に飲み込まれるのではなく非人道や差別に抗い、連携して闘う人たちがスクリーンに映し出されていきます『Amazon配達員』『バスドライバーにあこがれて』『令和の百姓一揆』『ここから』に加え、急遽、『組合づくり』を上映しました。下町の運送会社のドライバーたちが労組を立ち上げ、会社と対等にやりあう姿に、「これが組合というものか」と新鮮に感じた人も多かったのではないのでしょうか。（堀切）

フィールドワーククラブ

東大本郷キャンパス「悪人」銅像めぐり



6月1日日曜日。天気予報は雨でしたが、日頃行いの良いレイ17人。ガイドは、東大遺骨返還プロジェクトのAさん。東大は明治期以降、人類学の

研究と称し、アイヌの遺骨を盗掘してきた。葬式があると埋葬したばかりの墓からも人体を発掘し、研究対象として扱った。特にその中心だったのが人類学者で解剖学者の小金井良精。東大には約200体のアイヌ遺骨が保管されてきた。当日は日曜日で館内に入れなかったため、小金井の銅像は見られなかったが、そのほか悪人がらみの銅像を巡った。（根岸）

川柳班

戦後80年の節目に『抵抗川柳句集』を刊行

前作の『反戦川柳句集』を世に出してからもう7年も経った。早いものだと思う。今年は戦後80年、治安維持法制定から100年。その他、いろいろなことが100年、150年といった節目の年となる。そうした大きな歴史の節目。そして、世の中の多くの事柄が、その矛盾を深め、あるいは行詰り、あるいは、瀬戸際にある。といった深刻かつ重い時代の中で、私は、この時代の真ただ中にあることを表現した川柳句集をみんなの力を結集して発行しようと呼びかけ、作りたいと思った。（乱鬼龍）。*句集は7/27レイバー映画祭をめざして製作中です。

ブッククラブ

今年は、1月の「特別企画・私と本との出会い」が大盛況だった。その後、3月の筆者（永田浩三氏）を交えた『原爆と俳句』読書会、5月の『ルポ 軍事優先社会』と続いた。次回は8月2日（土）で『テクノ封建制』を取り上げる。場所はビデオプレス事務所。

レイバーネット 2025 総会 会計報告

●基本財政

収入（会費カンパ等）	1,777,461 円
支出（ニュース、交通費、事務経費、各部費用等）	
	1,478,979 円
差引	298,482 円 (a)

●レイバー映画祭 2024

収入（参加費等）	297,900 円
支出（会場費、映画代等）	304,950 円
差引	△ 7050 円 (b)

●レイバーフェスタ 2024

収入（参加費、賛同金等）	264,900 円
支出（会場費・ギャラ等）	209,890 円
差引	55,010 円 (c)

●レイバーネット TV

収入（サポーター会費・カンパ）	280,000 円
支出 放送一式 15 回分	224,452 円
差引	55,548 円 (d)

★ 2024年度決算 (a) + (b) + (c) + (d) = 401,990 円

★ 2023 年度からの繰越金 870,570 円

差引残高 1,272,560 円

(2024 年 12 月 31 日)

〔2025 年度運営委員〕 31 人（順不同）

河添誠（共同代表・労働運動家）、安田幸弘（共同代表・技術部）、尾澤邦子（共同代表・ノレの会）、松原明（共同代表・ビデオプレス）、土屋トカチ（事務局長・映像グループ「ローボジション」）、堀切さとみ（事務局次長・映像制作者）、根岸恵子（事務局次長・アクティビスト）、佐々木有美（ビデオプレス）、高幣真公（社会運動家）、杜海樹（ライター）、安齋徹雄（出版ネッツ）、森広泰平（アジア記者クラブ）、須田光照（東京東部労組）、ジョニー H（音楽班）、笠原真弓（川柳班）、乱鬼龍（川柳班）、白石孝（官製ワーキングプア研究会）、前田健司（レイバーネット TV）、稲垣豊（国際部）、金野正晴（会務担当）、北穂さゆり（写真部）、柴田武男（ご意見番）、志真秀弘（ブッククラブ）、黒鉄好（コラム担当）、井手窪啓一（関西・なかもユニオン）、土田修（ジャーナリスト）、後呂良子（女闘労倶楽部）、橘優子（ねりまの会）、奥山貴重（会計監査）、大場ひろみ（新）、那須研一（新）

季刊『フラタニティ』38号

松原明の連載「歩き続けるレイバーネット 第七回」

一億総ユーチューバー時代

若者は新聞もとらずテレビも見ないと言われているが、先日、私は生情報に触れて驚いた。3月22日の「NHK問題シンポジウム」で立教大学メディア社会学科の砂川浩慶教授がこんな話をした。「私は仕事柄、メディアの定点観測ということで定期的に学生アンケートをとっている。最近、そこで130人からアンケートをとったが、NHKを見ている人はゼロだった。若者のテレビ離れが言われているが、とくにNHK離れは激しい」。パネリストの長井暁氏も「私の教えている学生でも、下宿生でテレビを持っている人はゼロ。実家の人はテレビはあるがほとんど見ていない。テレビ由来のニュースやドラマは、ネットを通じて見ているケースがほとんど」という。若者の情報源は、新聞・テレビから、ネットメディアに完全に切り替わっていることがわかった。こうした「読まない、考えない、見るだけ」の若者の登場は、社会全体の民主主義の後退と軌を一にしていると思う。

私がメディア活動をはじめたのは、1989年で、最初はビデオカメラだった。その後、1995年のウィンドウズ95が発表されてからは、インターネットが注目された。以前、世間に伝えることができるのは、新聞・テレビのマスメディアだった。だから社会運動をする人はいかにマスメディアに取り上げてもらうか必死だった。ところが小型ビデオカメラとネットの登場で、「メディアがだめなら自分たちで発信しよう」という動きが世界中で起きた。筆頭はニューヨークの「ペーパータイガーTV」だ。日本では「民衆のメディア連絡会」ができて、さまざまな市民団体がメディア発信を始めた。2000年に入るとユーストリーム（配信サービス）が登場した。市民がテレビを発信するなんて「夢の夢」だったが、あっというまに実現した。レイバーネットがレイバーネットTVを始めたのは、2010年5月だった。当時は「先駆け」だった。それから15年経った現在の2025年には、個人のユーチューブ発信が爆発的に広がった。それはそうだ。「ユーチューブライブ」は無料の配信プラットフォームで、使わない手はない。

リベラル系のユーチューブ番組に、「デモクラシータイムス」「一月万冊」「アークタイムズ」「I W J」「ポリタスTV」「鮫島タイムズ」はじめ沢山あるが、マスコミOBが主宰しているケースが多い。その人たちは、職業ジャーナリストこともあり、取材・解説のノウハウをもっている。だから番組の質も高く、アクセスも一番組で10万を超えるのがあたりまえになっている。さまざまなジャーナリストや



個人から得られる情報は、確かに役立つことが多い。しかし、いまのユーチューブ界隈は、左翼系より右翼系が活発だ。反中・嫌韓・ナショナリズムの主張と情報が溢れている。また政治分野だけでなく、医療から料理、旅行、趣味まで、すべての人びとの生活分野でユーチューバーが登場していて、わからないことをすぐに教えてくれる。押川勝太郎さんという医師は医療ユーチューバーの先駆けで、「がん医療相談」を連日やっている。病院の医師は5分ほどしか面談出来ないのに、ここでは時間をかけて教えてもらえる。今まさに「一億総ユーチューバー」時代の到来である。

ユーチューブのシステムでは、広告を付けることで収益が可能である。そこで職業としての「ユーチューバー」が生まれることになった。100万回再生をすれば10万円は稼げる世界。ユーチューバーのヒカキン氏の年収は3億円を超えるという。だから一攫千金をねらって「猫も杓子も」ユーチューバーをめざすわけだ。しかし、視聴数をもとめて過激な内容にエスカレートする傾向がある。3月には、生配信中の20代女性ユーチューバーが視聴者から路上で殺される事件まで起きた。TVは視聴率競争で墮落していったが、同じような現象がネットでも起きている。昨年の選挙運動で、その落とし穴がクローズアップされた。ネット世論をつくりだし選挙結果に影響を与えた話で、有名なのは石丸伸二、立花孝志らだ。しかしそれは、かれらがSNS活用の仕方がうまかった、というレベルではなかった。TBS報道特集が徹底取材で解明したことは、立花孝志が「カネを使ってSNSを動かしていた」ことだ。「クラウドワークス」などのネット企業が介在し、バイト員を雇い、膨大なSNS投稿でフェイクニュースを流し、誹謗中傷をばらまいていた。カネで世論をつくる。資本主義社会において、すべてはカネが支配していることがよくわかる事例だった。（続きは4面へ）

新会員紹介

●労働問題にくらいつくメディアに 丹羽雪夫

今年からレイバーネットメンバーに加わらせていただくことになりました、丹羽雪夫（にわゆきお）です。以前労働者協同組合員であったこともあり、労働問題には関心を抱いております。Web メディアの即時性とインタラクティ



ブ性に魅力を感じていますが、使うユーザーの動きやトレンドに合わせていくことと、いかに硬派な問題を柔らかく表現していくかというのは難しくも面白い試みであり、

レイバーネットがこれからも労働問題にくらいつくメディアであるように少しでもお手伝いできたらと思います。もと IT 業界で、現在はセカンドキャリアに移行すべくビルメンテナンス関係を学んでいます。取材や記事の表舞台に立つことは少ないかと思いますが、よろしくお願いします。

●あきらめないでいいんだ！ 河野文子

ひとりで悩んだりひとりで悔しがったりあきらめようとしていた自分でしたが、自分と同じように悩んだり悔しがったりしている人が、こんなにこんなにたくさんいたんだと、ここで気づくことができました。そして・・・あきらめないでいいんだ！ 声を出してもいいんだ！と。正しいことは正

（3面からの続き）

レイバーネットもユーチューブのお世話になっている。だからこそ、その「光と影」を知り、活用の仕方にも注意が必要だと思っている。視聴回数が多いことは影響力の拡大であり、うれしいことだ。しかしここで考え違いをしてはいけない。私たちの原点は「伝えたいことを伝えるために」メディア（ビデオ・ネット）を使うのであって、稼ぐためではない。あくまで「社会を少しでもよくしたい」活動であり、基本はボランティアである。活動資金は別につくるという考えだ。運動系ユーチューブでも無料配信の情報と有料会員向け情報にわけて、有料会員化を目指しているところが多い。財政を考えれば、その方法はわからないことはないが、私は「違うのではないか」と思う。情報を商品化するべきでない、しかも運動情報に値段を付けるべきではない。レイバーネット TV の財政は、レイバーネット会員の会費やカンパをベースにしている。だから「商品化」は起きない。資本主義の商品化社会

しいと堂々と言える社会を目指し、私も自分の感性を信じて前へと進みたいと思います。よろしくお願いします。

●三菱重工爆破事件の衝撃を受けて 加藤一義

今回、支援連（「東アジア反日武装戦線への死刑・重刑攻撃とたたかう支援連絡会議」と長い名称ですが、）に参加するようになって、レイバーネット日本の会員になりました。東アジア反日武装戦線の起こした三菱重工爆破事件は、自分にとって歴史上の出来事ではなく、ビルを爆破するという非道な行為をした人達を、今も支える集まりが存在して、当事者の方もおられることに驚いたのです。当時 20 代の若者達がなぜ、武装闘争へと向かったのか、その背景には、高度経済成長期の中、戦中、戦後を通じて抑圧され続けている、日雇い労働者、アイヌ、在日の人々が存在し続けている事への彼らなりの日本社会への警告だったのかと思いました。

●映像、音響、英語が得意です 片桐朋子

初めまして、片桐朋子と申します。皆さんから、ともちゃん、と呼ばれています。私は、昨年 2024 年に根岸恵子さんからレイバーネットテレビに誘われたのをきっかけに今年から参加するようになりました。今レイバーネットテレビの配信のお手伝いをしています。私は、生まれも育ちも海外で、1 人子供いまして、43 歳シングルマザーです！今は、近所のスーパーと新宿にあるお店（BERG）でアルバイトとして働いています！映像、音響、英語についてなにかお手伝いお仕事あれば、呼んで下さい!! 何卒宜しくお願い致します。

とたたかっている私たちの理念を大切にしたい。

最近、レイバーネット TV に出演した N さんからこんな感想がよせられた。「レイバーネットは 10 年ほど前に、運営会議に参加させていただいたことがあります、その頃と同じ自ら手作り感あふれる番組作りで楽しかったです。長く続けるのに一番大事なのは、みんなが無理せずに楽しくやってることだなあと感じました」と。「手作り感」という言葉が、とてもうれしかった。私たちのキャッチフレーズは「みんなでつくる、みんなで変える」「アクティブ・ラジカル・現場から」だ。市民がワイワイ集まり、知恵を寄せて、権力に声を上げる、そんな「メディア運動」を実現していきたい。

* 季刊『フラタニティ』38 号（2025 年 6 月）は 880 円、申込みはロゴス社まで。Tel03-5840-8525 Fax03-5840-8544

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 560 名
ウェブアクセス 1 日 6,000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 A 会員 3,000 円 B 会員 5,000 円
（A も B も違いはありません。余裕のある方はぜひ B で）

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
銀行口座 きらぼし銀行 小竹向原出張所
普通 5002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578